

2020年11月26日

各位
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

農業総合研究所、和歌山本社機能を強化 利便性の高い和歌山駅前にオフィスの新設

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、全国の都市部を中心としたスーパーマーケットで『農家の直売所』を運営する株式会社農業総合研究所（和歌山県和歌山市、代表取締役社長：堀内寛、以下「農総研」）は、和歌山本社の機能強化を目的に利便性の高い和歌山駅前にオフィスを新設いたします。（これに伴い、2021年1月18日付で本社拠点を和歌山駅東口駅前に移転することをお知らせいたします。）

■目的と背景

このたび、業績拡大に伴い、和歌山本社における、営業部門並びにバックオフィス体制の拡充を図ります。また、オフィスを利便性の高い、和歌山駅前に新設(移転)し、事業全体の効率化、業務執行のスピードアップを目指します。

また、本計画は、産業振興と雇用機会の拡大が図られることから、和歌山県並びに和歌山市の『企業立地促進条例に基づく指定企業』に認定されました。これまでも、積極的な地元採用に取り組んでまいりましたが、引き続き地元の産業振興に貢献してまいります。

オフィスは、JR和歌山駅東口徒歩3分に立地し、関西国際空港直通のバス乗り場にも近く、ビジネスの拠点として抜群のアクセスです。また、開放的で快適なオフィス空間によって、従業員一人ひとりの健康と働きがいを生み出し、生産性ひいては企業価値向上を目指してまいります。本計画により、当社の持続的な成長を確実なものとし、さらなる事業拡大を進めてまいります。

■計画内容

立地場所：寺本ビルⅡ（和歌山市黒田99番地12）

雇用予定：正社員10名（うち地元雇用者7名、転入雇用者3名）（3年間）

操業時期：2021年1月18日（予定）

■株式会社農業総合研究所 JPX 証券コード 3541

農総研は、「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、日本及び世界から農業が無くならない仕組みを構築することを目的とした産直流通のリーディングカンパニーです。全国約9,200名の生産者と都市部を中心とした約1,600店舗の小売店をITでダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、これまでになかった新しい農産物流通システムを展開しています。

【企業概要】

社名：株式会社農業総合研究所

設立：2007年（平成19年）10月25日

代表者：代表取締役会長 CEO 及川 智正(おいかわ ともまさ)

代表取締役社長 堀内 寛(ほりうち ひろし)

本社：和歌山市黒田17番地4

資本金：4億9,400万円

売上高：34億7,300万（2020年8月期）

事業内容：農家の直売所事業（委託販売システム・買取委託販売・卸販売）

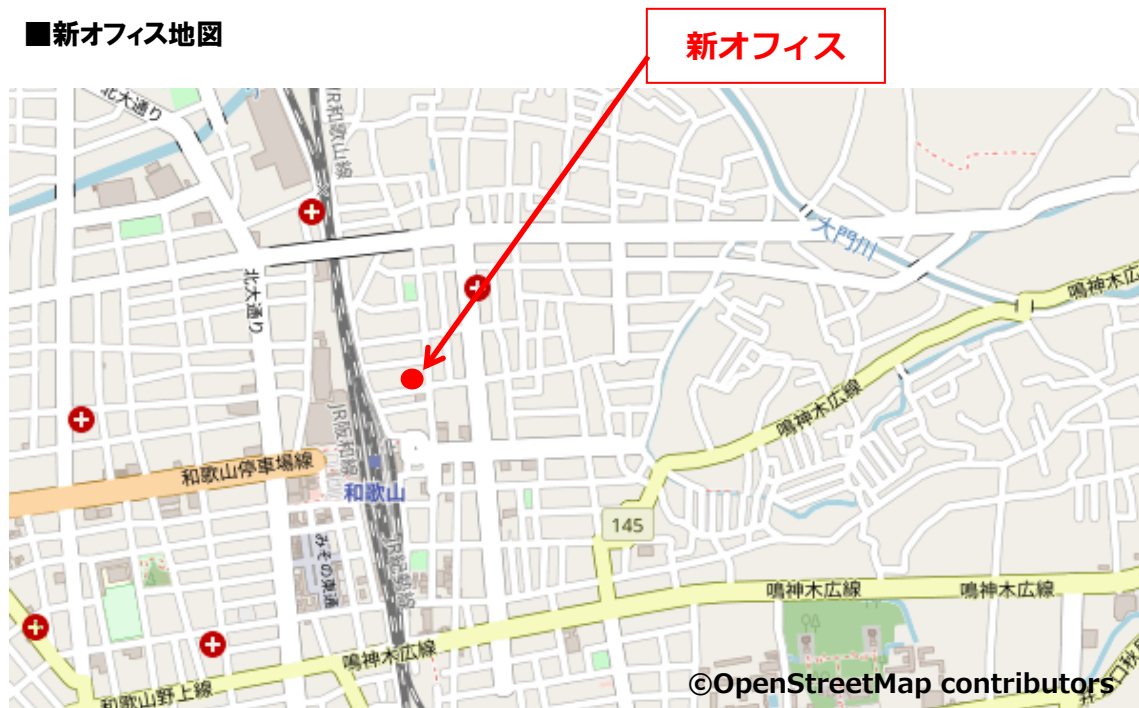
従業員数：231名（役員・パート含む、2020年8月末時点）

上場市場：東証マザーズ

事業所：営業所（東京・大阪・名古屋）

事業所：集荷場（全国92拠点、2020年8月末時点）

■新オフィス地図



以上